

平成 18 年度アスベスト大気濃度調査結果 環境省



環境省では、平成 17 年 12 月 27 日付け「アスベスト問題に係る総合対策」(アスベスト問題に関する関係閣僚による会合決定)に基づき、石綿による大気汚染の現状を把握し、今後の対策の検討に当たっての基礎資料とするとともに、国民に対し情報提供をしていくため、平成 17 年度に引き続き大気中の石綿濃度のモニタリングを行いました。

調査地点については、石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場及び建築物の解体工事等の作業現場をはじめ、全国 54 地域 169 地点を対象としました。このうち、建築物の解体工事等の作業現場を除く 39 地域 81 地点については夏季及び冬季の年 2 回測定を実施しました。

調査結果については、飛散の懸念された石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等及び解体現場等では絶対値としては特に高い濃度はありませんでした。その他の地域分類においても特に高い濃度は見られず、問題になるレベルではありませんでした。

今回の調査のうち 29 地域 60 地点については、過去の調査結果との比較対照を目的に、平成 7 年度及び平成 17 年度調査と同一地域において調査を実施しましたが、石綿濃度の推移に特に一定の傾向は認められず、低い濃度レベルで推移しているものと考えられます。

環境省では、引き続き石綿による大気汚染の状況を把握するため、平成 19 年度も大気環境モニタリングを行う予定です。

当社では、大気や建材中のアスベストの分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2007 年 4 月 17 日付 環境省報道発表資料

環境分析箇所 加藤吉紀